



小樽市立朝里中学校～学校教育目標「自律・承認・創造」～

コミュニティ・スクールだより

～地域とともにある学校づくりを目指して～

第10号 令和3年2月26日 発行

より、地域密着型の学校をめざして

朝里中学校がコミュニティ・スクールとなり、まもなく1年が経ちます。10回の学校運営協議会を開催し、地域の中の学校としてどうあるべきか、議論を重ねながら新しい事業を立ち上げる等着実に進化しています。次年度は、より地域とのつながりを深めるために地域学校協働本部を設立することをめざしています。たとえば、中学生の体験的な学習でインタビュー調査をしたい、学校や地域の環境整備を地域の方と一緒にやりたい。そのような活動に参加して下さる方を募集し、内容説明、実際の活動にまでつなげる、いわば実働チームのことです。

地域の幅広い年齢層の住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



<学校>



<朝里地区住民>

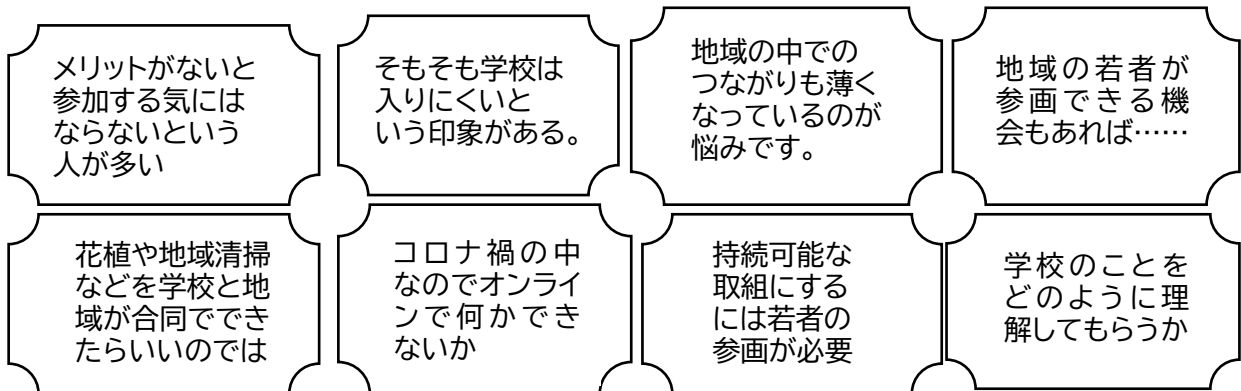
地域の将来を担う
人材育成

朝里地区住民の
つながりを深める

朝里地区の
街づくりへの参画

朝里地区の
活性化

例えば、いざという時にそなえる「防災活動」、地域みんなが楽しみにしている「イベント」、中学生が地域に出て学ぶ「校外学習」など、色々な場面で地域の人と中学生がつながることができたらいいのではないかと。きっかけをボランティア活動にしてみてもどうか、と熟議を行いました。



地域学校協働活動に参加する人たちは どう感じているのか（他の自治体の実態から）

- 楽しい ○特技を生かせる ○存在感を味わう ○やりがい ○自己実現 ○人の役に立っている
- 地域の人のこと、放っておけない…… 等

地域で子どもを育てる

小学生による中学校体験授業の実施

「9年間を通じて資質・能力を確実に育成する」ことを目標に、朝里地区では小中一貫教育を4年前より実施しております。小中職員による合同研修会の実施やカリキュラム編成の接続などを通して、「18才の冬をイメージした教育」を目指しています。

今回は、朝里小学校の児童の皆さんが中学校に来て、中学校の数学、美術の授業を体験しました。数学では素数のついての授業を受け、算数と数学の違いに苦戦しながらも一生懸命考えました。美術では、水墨画を限られた時間の中で黙々と描いていました。

参加した児童の皆さんからは、「算数はあまり得意ではないし好きではないし楽しいと思ったことはなかったけれど、今日の中学校での授業はとても楽しかった」「中学校で(勉強を)やるのが楽しみ」「中学校の勉強は難しいけど楽しそう」といった声が寄せられました。

朝里中学校職員一同、4月に入学してくる皆さん方を心よりお待ちしております。



授業後は小中教員による話し合いを実施しました。そこでは、今授業のねらいや日常での児童の様子について、交流を深めました。

また、今後の小中一貫教育の見通しについても話し合いました。

次回の学校運営協議会

3月18日(木) 18:00~

朝里中学校 学校図書館にて



今年度の卒業式については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、来賓の皆様、地域の皆様のご来場はご遠慮いただきます。ご理解のほどをよろしくお願いいたします。